

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

次世代科学技術チャレンジプログラム（小中型）に採択

小学5・6年生・中学生を対象に科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成

このたび、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する**令和5年度「次世代科学技術チャレンジプログラム」（小中型）に、本学の事業「徳島県高等教育機関連携型 次世代科学者発掘・養成講座～未来を切り拓く次世代の科学者をオール徳島で育てよう～」**が採択されました。

小中型には11件の申請があり、6機関（鳴門教育大学、慶応大学、静岡大学、三重大学、津山工業高等専門学校、沖縄工業高等専門学校）が採択されました。

次世代科学技術チャレンジプログラム（小中型・高校型・小中高型）は、JSTがこれまでに実施したグローバルサイエンスキャンパスとジュニアドクター育成塾が発展的に統合し、小中高校生を対象とした長期的かつシームレスな育成プログラムで今年度より新規に開始された事業です。

本学のプログラムでは、**徳島県内の高等教育機関である徳島大学・徳島文理大学・四国大学・阿南工業高等専門学校と共に、徳島県・徳島市・鳴門市教育委員会、学校、地域の教育機関との連携により**、理数系領域に意欲と才能を有する小学5・6年生および中学生を対象とした分野領域横断的STEAM教育講座の実施を通して、**次世代の科学技術イノベーションを先導する科学者をオール徳島で発掘・養成します。**

【参考】

・次世代科学技術チャレンジプログラム 令和5年度採択機関の決定について
（国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST））
<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1625/index.html>

・JST次世代人材育成事業『次世代科学技術チャレンジプログラム』について
<https://www.jst.go.jp/cpse/stella/index.html>

【本件照会先】

鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻（教科・総合系）理科教育コース
実施主担当者（事務局）早藤 幸隆 Tel：088-687-6409 E-mail：hayafuji@naruto-u.ac.jp

【本件事務担当】

鳴門教育大学 教務部 学術情報推進課 教育連携企画係 Tel：088-687-6101

背景

文部科学省：新たな社会を支える人材育成の基盤理念

「探究力の強化」から「学び続ける姿勢の強化」を見据えた教育政策

科学技術イノベーションを担う多様な人材育成の必要性

目的

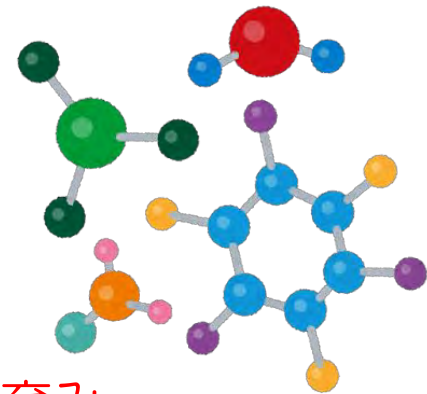
未来を切り拓く次世代の科学技術イノベーション

を先導する科学者につながる分野領域横断的

STEAM教育講座とその指導法の開発を目指した活動を実施



蓄積したノウハウを教育現場に還元・展開



自律的な探究と成果を伝えるコミュニケーション能力を育み、

次世代の科学技術イノベーションを先導する人材を育成

ジュニアドクター育成塾（H29～R3）

- 200名を超える修了生を輩出
- 文科大臣賞等の多数の各種受賞
- ISEF優秀賞3等（化学部門）
- 国際化学オリンピック日本代表
- 多くの学校教員も講座に参観
- 学会発表，論文投稿



進学状況（修了生）

- 国公立大学への進学(医薬農理学部等)
- 県内外のSSH指定校への進学
- 県内外の高専への進学(連携機関の接続)



鳴門教育大学が実施するSTELLA
NUE STELLA

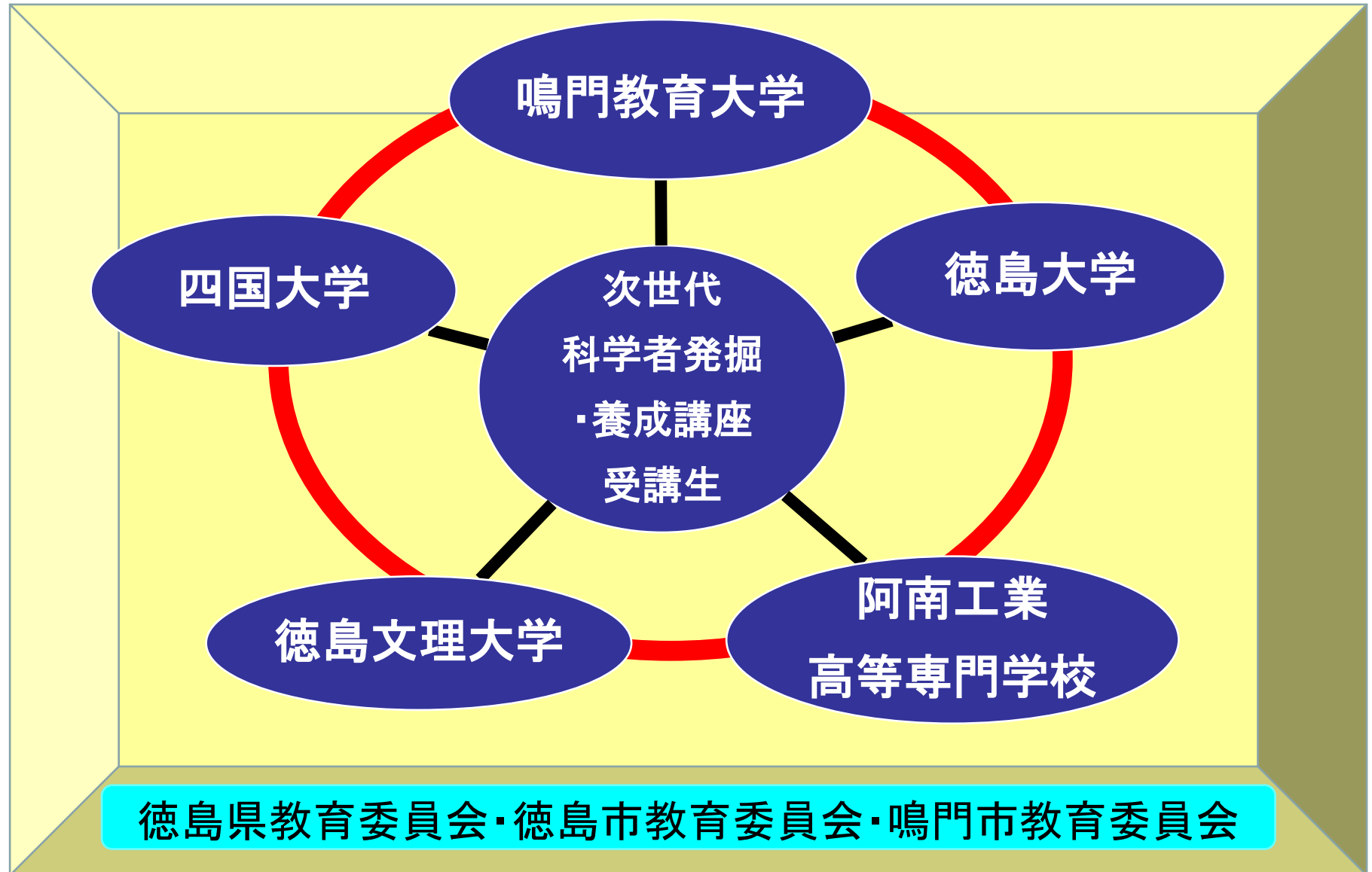
NUE STELLA

- 問いの連続性を重視
- オール徳島の環境を活かしたプログラム
- コンピテンシー育成型STEAM教育講座
- ローカルコンテンツ活用型STEAM教育講座

(第一段階育成プログラム)

- 研究基礎プログラム(一斉指導)
 - 研究標準プログラム(少人数指導)
- ## (第二段階育成プログラム)
- 研究応用プログラム(個別指導)

問いの資質・能力(“探る・究める・発見する”)の連続性を重視した育成プログラムを展開



分野領域横断的STEAM型問題解決力を駆使しながら、
継続的に挑戦する資質・能力を有する人材育成



第一段階育成プログラム
における資質・能力

科学者としての
研究基礎能力を養成

- 自己実現力
- 俯瞰的探究力
- 柔軟な独創力
- 再帰的思考力
- コミュニケーション力



第二段階育成プログラム
における資質・能力

科学者としての
研究応用能力を養成

- 統合的理解力
- 批判的思考力
- 自律的探究力
- 領域横断的課題発見力
- 倫理的判断力

